

ふじみ野

No. 76

R7. 2. 1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

CONTENTS

プロの指導で

部活動レベルアップ 2p

気軽に利用できる屋外イベントスペース 4p

市政を問う！一般質問 18人が政策論議 6p

文京学院大学で意見交換会 **ギカイの動き** 12p



働く人シリーズ⑤⑤ リトミック講師

リトミックは音楽に合わせて体を動かすことで、音感やリズム感、表現力や運動能力を育む音楽教育法です。

そこには正解や不正解はなく、自分の感じたものを体で自由に表現する力も伸ばすことにつながります。

(裏表紙に関連記事を掲載)

令和6年第4回定例会では、文化振興事業及びスポーツ推進事業並びに母子保健包括支援事業などを拡充する一般会計補正予算、上野台体育館と駒林体育館の料金を改定するスポーツセンター条例の一部改正、文化施設の指定管理者の指定などが市長から提案されました。提出議案20件を慎重に審議し、全ての議案が可決されました。

ンター条例の一部改正、文化施設の指定管理者の指定などが市長から提案されました。提出議案20件を慎重に審議し、全ての議案が可決されました。

議案審議

本会議・委員会での質疑をまとめています。



プロの指導で 部活動レベルアップ

補正予算 全員賛成で可決

部活動に 専門的な視点を

令和6年度一般会計補正予算(第5号)
文化振興事業及びスポーツ推進事業

中学校における文化部と運動部の部活動の機会を拡充するため、専門的な知識や技術を有する外部講師などを派遣する予算が増額されました。

文化芸術活動地域支援事業の内容は。

この事業は令和5年度から小・中学生を対象に実施している。令和6年度は学校開催と文化施設開催との2本立てで行っている。

学校開催分はアンケートを実施したところ、想定よりも多くの開催希望があった。

文化施設開催分は、昨年度よりも多くの参加がある状況である。

スポーツ活動地域支援事業の内容は。

この事業は令和6年7月から毎月実施している。休日の部活動支援を段階的に進めるため、市内の中学校6校の運動部5種目を対象に合同で部活動を行っている。

市はコーディネート業務を委託し、外部講師を招き、実施している。

特に、バスケットボールは男女ともに約100名が参加していることから、それぞれ2グループに分け、月2回実施している。

補正予算 全員賛成で可決

より利用しやすい 産後ケアサービス

令和6年度一般会計補正予算(第5号)
母子保健包括支援事業

産後ケア事業に関する国の補助金を活用し、利用者が利用しやすいよう利用条件が緩和されました。また、サービスを提供する施設を増やし、利用者の増加が見込まれるため補正予算が計上されました。

補正予算 全員賛成で可決

HPVワクチン 接種者数が大幅な伸び

令和6年度一般会計補正予算(第5号)
予防接種(A類疾病)事業

子宮頸がん等を予防するHPVワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した人を対象に実施するキャッチアップ接種の委託料が増額されました。

接種した人に限って、残りの接種については令和7年度も公費で受けられるとする条件付き延長の方針を示している。

接種した人に限って、残りの接種については令和7年度も公費で受けられるとする条件付き延長の方針を示している。

他の自治体では投票所入場券の発送が遅れたと聞く。本市の現状は。

補助がある国政選挙の機会を捉えて購入した。

市においては法定されている選挙期日の2日前におおむね配布しており、基本的には間に合ったと認識している。

投票用紙交付機の購入に至った経緯は。

投票用紙を確実に渡すため、計画的に交付機を購入していく必要がある。



◆議案に対する質疑

青藍会 原田 雄一 議員
公明党 鈴木 美恵 議員
日本共産党 床井 紀範 議員
会派外の議員 民部 佳代 議員

委託料の増額理由は。令和5年6月の国の要綱改正により、条件が緩和され支援対象が拡大した。

本市では令和6年10月から新たに1施設と契約し、利用しやすい料金で産後ケアサービスを提供している。

当初予算では継続施設で60泊分を見込んでいたが、11月までに42泊の申請があった。さらに、新施設では対象を出産後1年以内の母子に拡大したことで、すでに14泊の申請があり、今後も増加が見込まれる。これらを合わせて110泊分を想定し、増額した。



すこやかな育児ができるように

今後の動向は。現在ワクチンの供給が不安定になっていることから、国の専門家は令和6年度中に1回でも



条例改正
全員賛成で可決

気軽に利用できる
屋外イベントスペース

市立文化施設条例の一部改正

東文化施設に屋外イベントスペースが併設されます。料金は午前9時から正午まで2250円、午後1時から午後5時まで3000円とする条例案が提案されました。

問 屋外イベントスペースの概要は。

答 主に公共的な利用を想定しており、上野台小学校側にステージ部分と観覧スペースがある。観覧スペースではフリーマーケット、キッチンカー等のオープンスペースとしての利用を考えている。

また、有料利用がない場合には市民の憩いの場として利用できる。さらに、水害時の車両避難場所としても活用できる。



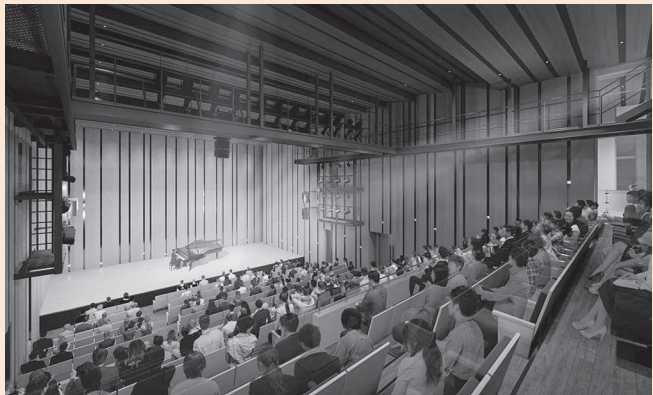
開放的なステージで盛り上がり(完成予想図)

問 東文化施設のホール棟と屋外イベントスペースの指定管理者の指定について、西文化施設・東文化施設多目的棟の事業者が引き続き指定管理者として指定されました。

答 事業担当1名、運営補助業務5名、舞台責任者1名、舞台技術スタッフ2名を増員し運営する予定である。

問 ホール棟に照明、音響の専門性がある職員の採用はされるのか。

答 ステラ・イーストのホール棟の音響と映像は、ステラ・ウェストと同様に指定管理会社から再委託する方向で考えている。



臨場感あふれるステラ・イーストホール (完成予想図)

問 料金の試算は。

答 ガス料金等の支出は年間約250万円、条例改正により料金収入は約100万円増を見込んでいる。

問 空調の利用率をどう判断したか。

答 1年のうち7割が気温28度を超える。効率を考え、夏場は一旦つけて消すのではなく、朝つけて夜まで室温をキープする運用を考えている。冬場は種目によって違いが生じるので、調整しながら運用する。

問 条例改正に当たり市民の意見は。



これからは快適に

条例改正
賛成多数で可決

エアコン導入で
快適な体育館

市立スポーツセンター条例の一部改正

上野台体育館、駒林体育館への空調設備導入に伴い、令和7年6月1日から施設料金をアリーナ3分の1使用で利用区分ごと2000円から4000円とする改正案が提案されました。

問 聞いた。また、スポーツ推進審議会で説明し意見集約した。

問 空調料金を別途支払う施設もあるが、考え方は。

答 現在、武道場やスポーツセンターはコイン式となっている。

令和7年度は総合体育館の空調工事を進め、駒林体育館、上野台体育館と同様に施設料金に含めるよう統一したい。

令和6年第4回定例会の提出議案と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第71号議案	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度ふじみ野市一般会計補正予算(第4号))	承認	第81号議案	ふじみ野市立スポーツセンター等の指定管理者の指定について	可決
第72号議案	令和6年度ふじみ野市一般会計補正予算(第5号)	可決	第82号議案	ふじみ野市立文化施設の指定管理者の指定について	可決
第73号議案	ふじみ野市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	第83号議案	ふじみ野市立大井総合福祉センターの指定管理者の指定について	可決
第75号議案	ふじみ野市立文化施設条例の一部を改正する条例	可決	第84号議案	ふじみ野市立上福岡図書館大規模改修工事請負変更契約の締結について	可決
第76号議案	ふじみ野市立放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	可決	第85号議案	令和6年度ふじみ野市一般会計補正予算(第6号)	可決
第77号議案	ふじみ野市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	第86号議案	令和6年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
第78号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決	第87号議案	令和6年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第79号議案	ふじみ野市立鶴ヶ岡コミュニティセンター及びふじみ野市立旭ふれあいセンターの指定管理者の指定について	可決	第90号議案	ふじみ野市職員の給与に関する条例及びふじみ野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決
第80号議案	ふじみ野市立産業文化センターの指定管理者の指定について	可決			

●賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会							公明党			日本共産党			会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	
			川島秀男	前田広子	鈴木宏樹	板倉篤	原田雄一	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	古越孝子	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	足立志津子	床井紀範	塚越洋一	田中早苗	金濱高顕	坪田敏孝	鈴木啓太郎	近藤善則
第74号議案	ふじみ野市立スポーツセンター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	○	○
第88号議案	ふじみ野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	退席	○	○	○	○
第89号議案	市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わっていません。

連載企画

子どもたちに聞きました in 郷土かるた大会

彩の国21世紀郷土かるた大会に参加した子どもたちから市の取り組みなどについて考えていることをインタビューしました。



ほしの かな 星野 花奈 さん じょうむら ひな こ 定村 陽奈子 さん

Q 大会に参加したきっかけと感想は。

A お兄ちゃんとお姉ちゃんが参加していたのがきっかけで、1年生の時に初めて参加しました。コロナ禍は休会でしたが、再開できました。大会で、色々な人と対戦してみたいです。

中学生になったら、ジュニアリーダーとして審判をやりたいです。

Q 市や学校にやってほしいことは。

A 学校で、大会の決勝戦をやりたいです。

一般質問

問 家でもない、学校でもない不登校や引きこもり、ニートといった若者たちの第三の居場所としてフリースペースの設置と支援を。

答 子ども関係団体や学校長で組織する児童センター運営委員会によれば、不登校の児童生徒が児童センターを居場所としている実績がある。



遊び場が居場所に

問 皇室の温かさや、象徴としての務めについても伝えていくべきと考えます。市の考えは。

答 天皇・皇后が親善のために外国を訪問したり、式典への参加や被災地への訪問を例示し、外国や国民への様々な関わりを理解できるよう指導している。



問 竹島問題、北方領土問題について、どのような指導を行っているか。

答 竹島や北方領土が我が国の固有の領土であることや、我が国が平和的解決に向けて努力をしていること等について、多面的・多角的に考えるよう指導している。

問 若い世代が将来の妊娠に備え、日々の生活や健康と向き合うプレコンセプションケアの現状の取り組みと課題は。

答 令和6年3月に策定した第2期元氣・健康プランに基づき、ライフステージごとに事業の充実を図っている。

問 成人女性向け事業に加え、今後は男性や思春期・青年期対象の幅広い世代への事業実施と啓発を行う。

問 こども家庭庁の健康相談支援サイト、スマー

問 子どもの居場所の支援状況は。

答 市内東西それぞれに児童センターを設置し、子どもたちの居場所になっている。

問 0歳児から中高生までを対象に幅広い事業を展開している。中高生を対象にしたスポーツタイムや夜間開館は、本市児童センターの特徴である。

フリースペースの設置と支援を

問 全ての子どもが自由に遊ぶことを保障するプレーパークの設置を。

答 本市では、現時点においてプレーパークを設置する考えはない。

問 既存施設の効果的活用、組織間と地域、企業との連携を深めて、子どもたちとしっかり向き合うことで本市独自の子どもの居場所ができていくと考えている。

問 学習指導要領によれば、全ての教科において愛国心の養成を図ることと認識する。市の手法は。

答 我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養うことができるよう指導している。

問 防衛の意義と自衛隊の役割を正しく理解させる必要があると考えます。市の考えは。

答 集団的自衛権の行使や自衛隊の災害派遣について調べ、我が国の安全や防衛について十分に考えさせるよう指導している。

問 建国神話について、市内小・中学校での対応は。

答 読み聞かせを楽しんだり、感想を伝え合ったりするなどの指導をしている。

問 竹島問題、北方領土問題について、どのような指導を行っているか。

答 竹島や北方領土が我が国の固有の領土であることや、我が国が平和的解決に向けて努力をしていること等について、多面的・多角的に考えるよう指導している。



からだや性・妊娠を知ろう

お出かけサポートタクシーの拡充を

問 川越市や所沢市の医療機関利用者のニーズに応える広域化の考えは。

答 令和2年4月から運行範囲を市内から富士見市と三芳町を加えた2市1町に拡大した。

問 令和5年度の実績では、91・2%が市内の乗降で、富士見市と三芳町の乗降は8・8%に留まるため、現時点で運行範囲の更なる拡大は考えていない。



子どもの居場所

田中 早苗 議員



小・中学校での愛国心の養成

金濱 高顕 議員



若い世代の健康支援

古越 孝子 議員

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、18人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(2月中旬掲載予定)



図書館の利用促進

坪田 敏孝 議員

問 北海道恵庭市立図書館のように自習室・休憩室を設けては。

答 上福岡図書館では、夏休みなど長期休暇の間は集会室等を開放する予定である。軽食の販売を予定しており、サードプレイスとしてくつろぎながら滞在できる環境整備を進める。

物価高騰下のひとり親家庭支援

問 ひとり親家庭への支援の考えは。

答 直接的な経済的支援も重要だが、稼ぐ力を高める支援が必要と考えており、市として何をすべきかを考えたい。

小学生への学習支援

問 学習支援実施の考えは。

答 所得による限定がない形で、多様な学習支援



誰一人取り残さない学びの保障を

の中から自分に合うものを選べるのが望ましい。学校の余裕教室などの活用を図りながら、生活支援コーディネーターを中心に関係機関と連携し、検討している。

学校に通いづらい子どもへの対応体制

問 国のCOCOLOプランに基づく、教室外登校の児童生徒への対応は。

答 学びの多様化に対応する学習室等を全校に設置している。



ふじみ野特産品づくり

加藤 恵一 議員

問 地場産農産物の6次産業化の取り組みは。

答 市観光協会では、酒蔵もない地域であるが市産のお米を原料とした地酒づくり事業を開始した。市誕生20周年を契機に販売できるように現在進めている。



地酒づくり始まる

農と食をつなぐ取り組み

問 地場産農産物を飲食

店につなげる取り組みは。

答 女子栄養大学から市産の農産物を使用した商品開発を行いたいと要望があり、市内の農業者や飲食店とのマッチングを行った。

農業者や飲食店とのマッチングを図ることにより、地産地消につながると考える。

規格外野菜の活用

問 規格外野菜を子ども食堂等に活用しては。

答 現在、地域内の農業者と子ども食堂等の関係者と個々のつながりの中で行われている。

本市としては、農業者と強いつながりを持つJAいるま野との情報交換や、農業者の意見や意向等を聞き、今後の連携について検討する。



ステラ・ウエストを 使いやすく

民部 佳代 議員

問 ホールの出入口の動線が悪くドアの利用を制限しているため、1階カフェ横の通路が混雑する。改善すべきでは。

答 カフェ横の出入口を常にオープンにすることや他の場所を開放することを含めて研究する。

問 2階のホール出入口のホワイエは交流や団らんの間所だが、同じスペースにある図書館の利用者からうるさいと苦情がある。壁を設けるなど区分すべきでは。

答 今後はホールの催事を周知し、3階、4階の図書閲覧場所を案内など



駐車できるかは運次第

公民館機能の継承

問 上福岡西公民館が廃止されるが、公民館が行ってきた事業の窓口はどうなるのか。

答 教育委員会で引き続き特定の施設にとらわれず多角的に事業展開する。

特に社会教育士が配置されている文化施設では市の社会教育主事と連携を強化する。



高齢者の ウェルビーイング対策を

前田 広子 議員

問 高齢者のウェルビーイングとして、シルバー人材センターはどのような取り組みを行っているか。

答 入間東部シルバー人材センターでは、グラウンドゴルフ大会等で親睦の機会を提供している。

問 市の会計年度任用職員のリバー世代の採用は。

答 退職後のシルバー世代の職員が技術、経験等を生かして活躍している。



生き生きと体験活動

問 地域デビュー支援は。地域貢献や社会参加活動で生き生きと生活を

送るための介護支援ボランティア事業を実施している。今後も受け入れ施設の拡充と事業の周知で参加者を増やしていく。

タブレット使用時の 目の健康啓発

問 端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレットについて周知は。

答 タブレット活用のルールや通知をもとに啓発し、使用方法や健康の配慮について指導していく。

集中豪雨対策

問 止水板の設置、購入補助をしては。

答 補助制度は現在考えていない。様々な雨水対策の効果を検証し、他自治体の効果等を注視していく。



自転車の安全利用の促進

山田 敏夫 議員

身寄りのない 故人に寄り添う

問 身寄りがいない人が増え、引き取り手のない遺体・遺骨が増えている現状と今後の見通しは。

答 市においても、身寄りがいない、もしくは親族がいなくても関係が疎遠で葬祭や遺体等の引き取りを拒む事例は少なからずあり、生活保護法を適用した例で令和5年度は34件あった。

生前に自身で準備をする終活支援のニーズが高まっている。

成年後見センターを中心として終活支援を行っており、今後においても市民のニーズや現状の課題把握を進め、市に合った支援の方法を検討していきたい。



自転車安全に走れる車道を



ヤングケアラー 支援の強化を

川畑 京子 議員

問 ヤングケアラー支援の強化のため、子ども・若者育成支援推進法が改正された。

こども家庭センターにおけるヤングケアラーの実態把握の調査方法及び計画は。

答 今後、教育委員会と連携を図りつつ、児童や生徒に配布されているタブレット端末を利用したアンケート調査等の実施を計画している。

問 自立に向けた重要な移行期を含む若者期を支える体制は。

答 18歳以上のヤングケアラーは地域福祉課が中



相談されたときにフツーに話せるようにヤングケアラーについて知っておきませんか？

具体的内容が示されたら速やかに接種を開始できるように、東入間医師会及び富士見市、三芳町と協議を進めていく。



受動喫煙防止に向けて

板倉 篤 議員

問 路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例を改正し、受動喫煙防止の理念を盛り込んで。

答 受動喫煙防止の取り組みの重要性は認識している。

関係各課と理解促進の取り組みを進めていくとともに、それを条例に盛り込むことについても近隣市町村の動向を注視し検討していく。

問 公園の喫煙可能エリアのゾーニングの考えは。

答 市ホームページ上に公共施設のオストメイト対応トイレ設置状況を掲載した。



県営公園はすでに全面禁煙に

本庁舎の設備案内等については写真掲載など分かりやすい見せ方を研究しているところであり、今後は指定管理施設等も含め全体で統一的に進めることも検討していく。

公共施設の設備を 分かりやすく

問 バリアフリー設備の内容をインターネット上で確認できるようにしては。

答 市ホームページ上に公共施設のオストメイト対応トイレ設置状況を掲載した。



増え続けるムクドリ

鈴木 宏樹 議員

市内設置の LED街路灯

問 LED街路灯の種類、個数及び設置時期並びに全体点検の考えは。

答 LED防犯灯及び街路灯の個数は防犯灯が約7千灯、街路灯及びデザイン灯が約1千灯、合計約8千灯設置している。維持管理は、平成29年12月の事業者との賃貸借契約において、10年間事業者が行うものとなっている。

防犯灯の全体点検を年度内に実施し、修繕が必要なのは早期の修繕実施を計画していると報告を受けている。



ムクドリの襲来

点検中に点滅等があれば街路灯も含めて直ちに交換等を行う。



**チラシ配架不許可は
団体への圧力ではないか**
鈴木 啓太郎 議員



公民館としては廃止が決定

統制や萎縮的效果を及ぼすものではないと考える。
**住民の利用を
拒めない公の施設**

問 地方自治法第244条は、公の施設について定義し、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的取り扱いをしてはならないとしている。これに抵触しないか。

答 チラシの館内配架は、公民館の付加的サービスとして行っているもので、当該チラシは政治的中立性を損なう恐れがあると判断した。

**社会教育団体との
意見交換は**

問 今後も当該団体との意見交換はあるのか。

答 社会教育事業の推進について有意義な話し合いをしている。



公民館事業の充実
塚越 洋一 議員



公民館廃止でもカンナは芽を出す

**市防災訓練への
市民参加**

問 市の総合防災訓練については、計画作りの段階から市民とともに市民が主役という考えをもっと取り入れるべきでは。

答 地域の特性に応じた訓練については、総合防災訓練動画などを活用し、好事例の横展開を図るなど、自主防災組織による訓練を支援していく。

問 24時間地域にいる確率が高い中学生の参加についての考えは。

答 地元にいる中高生たちは、災害現場において災害支援の貴重な存在である。自主防災組織の一員として活躍することは重要な意義がある。今後は、ふじみ野高校にも参加を促していく。

問 館としての公民館がなくなる中で、公民館事業を縮小するのではなく、充実するために何をなすべきか。東西の文化施設に市の職員としての社会教育主事を配置することが必要では。

答 公民館事業を文化施設になってもこれまで以上に拡充するため、体制の拡充については既に準備を始めている。
具体策については、議員の提案にほぼ近いようなものではないか、力を



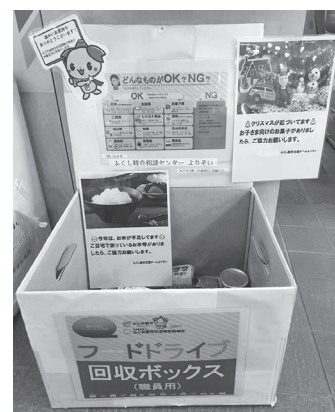
**子どもたちの食を
地域で守るために**
鈴木 美恵 議員

問 フードドライブやパントリー事業の周知と更なる拡大は。

答 令和6年も県下一斉フードドライブキャンペーンに参加し、市の環境フェアでは積極的に周知、受け入れを行った。11月から本庁舎1階の総合受付にフードドライブの回収箱を設置した。

問 子ども食堂でも課題となっている食品保管庫の設置は。

答 現在、寄附金の活用による大型の冷凍冷蔵庫の購入に向けて、設置場所や運用方法等について



誰でも気軽にフードドライブ

詳細を詰めている。
**障がい者支援の
充実と人材育成を**

問 困っていると感じる障がい者への声かけや手助けの方法が分からない。ガイドヘルプを学ぶ講座の開催を。

答 声かけ方法や支援の仕方等が学べるユニバーサルマナー検定を実施している。

**市誕生20周年
記念事業の充実を**

問 公共施設や歩道橋などに横断幕・垂れ幕を。

答 市役所本庁舎・大井総合支所に懸垂幕、上福岡駅東口に整備した横断歩道橋に横断幕の設置を考えている。



**マイナ保険証がなくても
医療が受けられる周知を**
足立 志津子 議員

問 市が発行する資格確認書の提示で医療を受けられるとする厚労省方針の周知のため、広報板に大きな文字で掲示を。

**ステラ・イーストの
防音対策**

問 音楽スタジオBからドラムの音漏れ、振動による上下の部屋への影響改善を。

答 ホール棟が完成したら、代替案を考えたい。



バンド練習が盛んなスタジオB

**防犯灯の不具合への
対応と今後**

問 不具合の発生原因と

対応は。
答 夏季の異常な高温や雷の多発が、LED照明灯の開発設計時の想定を超えたことに起因する。業者が年度内に点検、交換を計画している。
問 令和10年賃貸借契約満了後の維持管理は。
答 本市にとって最善となる方法を検討する。
**高齢化社会に
おける投票権の保障**
問 令和6年10月の総選挙で3件が不受理となった。理由は。
答 不在者投票は投票日前日までに実施とする公職選挙法の下で、投票日に投票が行われたことが確認されたため。
問 不在者投票に関する規定の周知を。
答 指定施設の不在者投票管理者に事務ルールの徹底を図る。



**一人暮らし高齢者
安全確保はいかに**
床井 紀範 議員

問 災害発生時などは個人情報保護よりも、生命の保護が優先されるべき。一人暮らし高齢者の個人情報共有できないか。

答 災害時などの緊急時は、本人の生命、身体または財産を保護する場合等、本人以外の者に提供することが明らかに本人の利益になるときは、必要な範囲で個人情報を提供できる。

**小・中学生の
意見を反映して**

問 子どもの意見表明権を尊重した子どもの居場所づくりが求められる。これまでの取り組みは。

答 令和4年4月からこどもの未来を育む条例を施行した。
子どもの意見を尊重した取り組みとして、自らの主張を伝える機会とし



問 策定中のこども計画への反映は。

答 令和6年5月から6月に、子どもや若者から意見を聞いたので、その結果を市のこども計画に反映できるよう進めている。



部活動の地域移行
近藤 善則 議員

問 会津若松市は、部活動の地域移行を地域と連携して生徒を育てるための体制づくりと位置付け、平日は学校、休日は地域が部活動を担っている。本市の取り組みは。

答 部活動の地域移行を急ぎすぎて、子どもたちの教育環境や地域に混乱をもたらさないよう、子どもや関係者の意見を把握し、検討を重ね、計画的かつ段階的に取り組むことに留意する。

市宮野球場の整備

問 関係団体の要望を受けて、どのように整備するのか。

答 グラウンド内の水はけの改善を含め、内野部分を黒土、外野は人工芝によるグラウンド全体の改修、電光掲示板の設置、防護ネットの設置などの項目について現在調整、詳細設計業務を実施している。

**デジタル教材は
慎重に**

問 デジタル教科書は、あくまでも紙の教科書の代替教材と位置付け、限定的に使用すべきでは。紙とデジタルの併用についての取り組みは。

答 紙の教科書にはデジタル教材にはない利点があり、紙ベースの学習は



木々の向こうは野球場

総務・教育常任委員会視察調査報告

教育データの利活用と部活動の地域移行

総務・教育常任委員会では 11月5日及び6日の日程で、教育データの利活用と部活動の地域移行について視察研修を行いました。

茨城県水戸市では、児童生徒一人ひとりに応じた指導や支援につなげ、子どもの心の健康観察を実施するため、端末を積極的に活用している。取り組みには多大な財政負担を伴うことから、本市では今後の検討課題である。

福島県会津若松市では、中学校の部活動は平日は学校、休日は地域で行われ、学校と地域との協働で生徒の育成が図られていた。本市では専門的な指導者から子どもたちは部活動の指導を受けているが、今後はその拡充が図られることが求められる。



市民・都市常任委員会視察調査報告

インキュベーション施設で起業の後押しを視察

市民・都市常任委員会では 11月7日に、産業振興をテーマとして、宇都宮市の起業家支援施設や道の駅事業を視察しました。



起業家がここから育つ

宇都宮市では起業家支援施設「宇都宮ベンチャーズ」を運営している。支援団体、金融機関などの協力を得て起業を支援、シェアオフィスや起業家同士の交流に取り組んでいる。本市でも情報通信、コンサルティング、商品開発、広告、デザインなどの分野で起業を支援する取り組みの参考となった。

道の駅ろまんちっく村は農業振興や余暇の充実を目的とした施設である。本市単独での実施は難しいが、農業と観光をつなぐ考え方は今後の参考となった。

議会運営委員会視察調査報告

存在する議会から機能する議会をめざす

議会運営委員会では 10月31日及び 11月1日の日程で、長野県飯田市及び駒ヶ根市で視察研修を実施しました。

飯田市では飯田市議会政策会議（行政評価）、地方議会評価モデル、一般質問を通じた議員力、議会力の向上について学んだ。

駒ヶ根市では、月2回の議員同士の意見交換を図るツキニミーティング、市民との情報共有及び市民参加促進など住民参画を意識した議会改革を学んだ。

視察を通じて、存在する議会から機能する議会をめざすきっかけとしたい。



ギカイの動き

問 歯の健康フェアで口腔機能の向上及び評価を行っている。

口腔機能の向上で介護予防を



ピッチャーマウンド付近からこんな石が

問 荒川運動公園野球場のピッチャーマウンド付近から石が出てくる。土の補充を。
答 公園内の小石が表面に出てくるグラウンドに対し、優先的に土の補充を行うなど、利用者が安全に利用できるような整備を実施していく。

問 3年、5年など期間限定で補助制度の創設を。

答 今後、どのような形をとれば、少しでも改善できるのか検討を進めたい。

砂利道私道の整備を

問 ガバメントクラウドの導入に向けて、専門職員の配置体制は。
答 職員に専門的な知識や技術がこれまでに以上に必要になると考えられているが、まずはシステムの移行を目指し、対応を進める。

ダブルチェックができる職員体制を

問 今後の実施方法について、どのような形で行うことがより効果があるのかを含め、検討していく。



安全に野球をプレイできる環境を
小林 憲人 議員

ギカイの動き

生活・福祉常任委員会 議会報告会

文京学院大学で意見交換会

11月7日、生活・福祉常任委員会では委員長による定例会報告に続き、子どもの貧困支援とひきこもり支援をテーマに福祉分野を専攻している文京学院大学生13名と議員で意見交換を行いました。市議会と文京学院大学は連携協定を結んでいます。



● 学生の意見（抜粋）

ひきこもり支援について

- ・当事者のニーズに合った外に出るきっかけとなるような場が必要。
- ・社会的な問題となっているため、市民に対する学習機会の提供を。
- ・SNSなど多様な媒体の活用による相談方法の拡充が必要。

子どもの貧困支援について

- ・気軽に立ち寄れる場所、相談できる場所が必要。
- ・子ども自身と子育てにお金がなくとも困らない社会にしたい。
- ・子どもの貧困について学び、偏見を無くすことが大事だと思う。

終了後の学生アンケートより

- ・意見交換を通して視野が広がった。
- ・直接議員と意見交換ができ自身の意見を発信できたことは貴重な経験だと感じた。
- ・意見を言いやすいように、議員からプラスの言葉かけや共感が多かったので話しやすかった。

12月6日、生活・福祉常任委員会では今回の議会報告会の振り返りを行い、学生の意見を生かしていくことや今後の議会報告会の開催方法などが話し合われました。

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

リトミック講師に伺いました

Q このお仕事を始めたきっかけは。

A 音大で音楽教育学を学びましたが、卒業後は音楽から離れていました。その後自分の子どもの習い事としてリトミックに出会った時に、私がずっとやりたと思っていた音楽で子どもの教育に関わる仕事というのはこれだと感じ、改めて勉強してスタートしました。

あさかわ まりな
浅川 真莉那 さん

Q やりがいを感じるところは。

A 子どもが少しずつ少しずつできることが増えていく、その場面に一緒に立ち会えることがうれしいです。またリトミックで身に付けた

ものがほかの場面で生かされていることを聞くのもうれしく思いますね。

Q 今後の目標はありますか。

A 来てくれているお子さん一人ひとりに丁寧に向き合っていきたいと思ってます。また、まだまだリトミックを知らない人も多いので、スイミングくらいメジャーな習い事にできたらいいですね。

Q 市にひとことお願いします。

A ステラ・ウェストに素晴らしいホールができて、ステラ・イーストにも建設中と、市は音楽に力を入れてくれていると思います。音楽の設備は整ってきているので、それを使いたくなる音楽好きな子どもたちが増えるように、イベントや保育園などでリトミックに触れる機会をつくってもらえたらうれしいです。

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
録画放映やSNS もご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



12月定例会の傍聴者は29人でした。

次の定例会の
開 会 予 定：2月21日 午前9:30～

市役所 4 階議場で開催します

請願締切予定：2月12日 午前10:00

議会広報常任委員会

委員長 鈴木 美恵	副委員長 床井 紀範
委員 田中 早苗	委員 古越 孝子
委員 川島 秀男	委員 板倉 篤
委員 民部 佳代	

表紙の題字を書いてくれた人

くわばら おうた
大井中学校2年 桑原 旺太さん

ふじみ野



僕は、あいさつで人がつながるあたかなまちふじみ野が大好きです。市外の人がたくさん観光に来てくれるようなまちになってほしいと思います。

編集後記

昨年元旦の能登半島地震では衝撃を受けました。被災地ではようやく復旧の兆しが見えてきたところに、さらに豪雨災害に見舞われました。被災地の復旧復興を願うとともに、改めてお見舞い申し上げます。

災害に対する市民の関心も高まり、市議会の一般質問でも防災関連が多く取り上げられました。

市議会でも市の総合防災訓練と合わせ、情報収集などの訓練を行い、災害に備える意見交換を行いました。本市も、防災の準備が整いつつあります。

また、本年は阪神・淡路大震災から30年を迎えました。平穏な年となることを切に願っています。

(田中 早苗)

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。